

令和3年 第19回帯広市教育委員会会議録

1. 令和3年11月25日 木曜日 16時15分 ～ 17時
帯広市教育委員会会議を市役所 第6会議室に招集する。

2. 本日の出席者

教 育 長	池 原 佳 一
教 育 委 員	田 中 厚 一
教 育 委 員	藤 澤 郁 美
教 育 委 員	佐々木 しゅり
教 育 委 員	柳 川 久

3. 本日の議事日程

- 日程第1 会議録署名委員の指名について
- 日程第2 報告第42号 帯広市青少年問題協議会委員の委嘱について
- 日程第3 報告第43号 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について
- 日程第4 報告第44号 とちがちプラザ運営審議会委員の委嘱について
- 日程第5 その他(1) 今後の事業予定について
その他(2) 寄附受納について
その他
- 日程第6 議案第36号 令和3年度帯広市一般会計補正予算(第13号)中教育委員会関係分について
【非公開】
議案第37号 公の施設の指定管理者の指定について【非公開】
議案第38号 公の施設の指定管理者の指定について【非公開】
議案第39号 公の施設の指定管理者の指定について【非公開】

池原教育長

ただ今から、令和3年第19回帯広市教育委員会会議を開会いたします。

出席委員は全員であります。

会議は成立しております。

ここで諸般の報告をいたします。

(佐藤企画総務課長 報告)

日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は田中委員及び柳川委員を指名いたします。

日程第2、報告第42号、帯広市青少年問題協議会委員の委嘱についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

広瀬 部長

報告第42号、帯広市青少年問題協議会委員の委嘱についてご報告いたします。議案書19ページでございます。本協議会は、地方青少年問題協議会法及び帯広市青少年問題協議会条例に基づき設置されており、青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策の樹立に必要な事項の審議や関係行政機関相互の連絡調整を図ることを目的としており、委員の皆様幅広い見地からご議論、ご意見をいただくものであります。委員につきましては、市長が任命し、関係行政機関及び団体の代表者11名、並びに学識経験者6名の計17名により構成されております。このほど学識経験者の任期満了に伴い、去る11月24日、新たに矢野充委員外5名の委員に委嘱させていただきましたのでご報告します。以上です。

これから質疑に入ります。

ありません。

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

日程第3、報告第43号、令和3年度全国学力・学習状況調査の結果についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

池原教育長
各 委 員
池原教育長

黒島 参事

報告第43号、令和3年度全国学力・学習状況調査の結果につきまして、去る10月28日の中間報告に続きまして、今年度の結果分析を踏まえた考察、並びに改善の方策についてご報告させていただきます。令和3年度の本調査結果につきましては、10月に報告させていただきますので、概要のみ伝えさせていただきます。

3ページをご覧ください。今年度の本市の調査結果を平均正答率で全国と比較したものでございます。小学校では国語、算数ともに全国の平均正答率を下回り、中学校では国語、数学ともに全国の平均正答率を上回る結果となりました。次に4ページ、中段をご覧ください。市内の平均正答率が最も高かった学校と最も低かった学校の差が小・中学校ともに、算数、数学において広がっており、教育委員会としましては、学校間格差に大きな課題を感じているところ

であります。次に5ページ以降のデータにつきまして、詳しい説明は割愛させていただきますが、特徴としましては、学習規律や小中連携に関する設問に成果が、また、小学校、算数における学習意欲や小中学校での家庭学習時間に課題が見られたところがございます。

このような結果に基づきまして、12ページ、13ページに本調査の考察を示しております。(1)学力の状況につきましては、全国との平均正答率の比較から、小学校に課題が見られたものの、中学校では全国の平均正答率を上回っており、これまでの各学校の改善プランに基づいた学力向上の取組の成果が一定程度表れているものの、更なる取組の充実が必要であることを示しております。次に(2)の児童生徒質問紙からは、学習に対する興味・関心の高さや日常的に本に親しむ習慣について、小学校段階での課題が見られることから、引き続き、家庭での学習習慣や読書習慣の定着を図っていく必要があることを示しております。(3)の学校質問紙からは、小・中学校における学習規律の定着や小・中学校における9年間を見通した教育課程の編成に向けた取組が着実に推進されている様子が示されております。

13ページ、14ページには、帯広市教育委員会としての改善の方策について示しております。今年度の調査結果から、自己肯定感、学習意欲及び家庭学習への取組が児童生徒の学習理解等に影響している可能性を踏まえ、学力向上を考える上で大切な視点として、学習意欲や自己肯定感を高める授業改善の実現と学習習慣の確立という2点について確認いたしました。さらに今年度、小中学校における共通課題としましては、学校間の平均正答率の差が開いたことを大きな課題として捉え、学力向上に向けた市内全校の方策の更なる充実に向け、焦点化と共有化の視点から、新たな学校支援を次のとおり行っていくこととしました。具体的には、全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、各校が課題解決に向けた実践を1校1実践として重点化し、教育委員会による継続した支援を行ってまいります。2点目は、各校の課題解決に向けた実践を全校で共有する場を設け、好事例などについて交流することを通じ、全国学力・学習状況調査を軸とした各校における検証・改善サイクルの定着を図ってまいります。今年度の全国学力・学習状況調査の結果を受け、各校の学力向上に向けた新たな取組を通して、今年度の課題は今年度のうちに解決するという気概を持って、学力向上の取組を進めてまいります。また、北海道教育委員会における市町村別結果公表につきましても、これまでと同様に同意しておりますことを申し添えます。報告は以上です。

池原教育長
藤澤 委員

これから質疑に入ります。

10月の教育委員会会議で中間報告をいただいて、今回、具体的な

改善方法が示され、このように取り組んでいただければと思います。1つ、読書の時間についてお聞きしたいと思います。小学校では1時間以上読書する児童が減り、中学校ではそうでもなくて、コロナ禍で増えると想像したのですが、これだけ減った理由について、例えば、学校が休みで朝読書の時間がなかったとか、疑問点が大きかったのか、わかれば教えてください。

高橋 課長

ご質問の読書の時間につきましては、市内小中学校では、概ね毎日学校で10分ほど朝読書をしております。また、今年度はタブレット端末が配付されておりますので、電子図書を使った読書も進んでおります。トータルで1日1時間以上というのは、小学生にとっては時間的に長いということもあり、そこに至らない回答が多かったと認識しております。朝の時間が他のことに使われているということではなく、タブレット端末の活用も一層進んでおりますので、今後、読書の時間は改善されていくものと考えております。

藤澤 委員
佐々木委員

ありがとうございます。

タブレット端末を家庭に持ち帰らせている割合が低いことについて、タブレット端末を活用した教育が始まったばかりだからなのか、今後も持ち帰らせることは考えていないのか、それとも、今後は持ち帰って活用の幅を広げていくのか、今後の予定についてお聞きします。

高橋 課長

タブレット端末のご質問につきましては、全国学力・学習状況調査が5月末に実施されていることもあり、4月に配付されたタブレット端末の持ち帰りについて、まだ進んでいない現状でございました。その後、試行的に持ち帰る学校もあり、また、この冬休み中には、市内の小中学校で一斉に持ち帰り、家庭で活用していただく計画を進めております。今後も学校でも家庭でも、タブレット端末を使い、いつでもどこでも学習できる環境作りに努めてまいりたいと考えてございます。

佐々木委員
田中 委員

ありがとうございます。

13ページ、(3)学校質問紙の中で、「授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか」の質問に対し、「そう思う」と回答した学校の割合は、小・中学校ともに全国平均を上回ったとあります。具体的には11ページ、②を見て確認させていただきましたが、小学校は50%、全国平均が45.8%ということで差はそれほどない。ところが中学校は爆発的に帯広市が高いということ踏まえて、それとの相関関係についてお聞きしたいのですが、今、小学校も中学校も、学校間格差が問題になっているという話があります。特に中学校は、ものすごく授業を聞いていて、私語はしていないと先生たちは思っているのにも拘らず、帯広市の学校間格差が増えている。数学の23ポイントの差は、どう考えればよろしいのでしょうか。一生懸命勉

強して、少なくとも私語はしないで真面目に授業を聞いているのか。何もわからないまま静かにしているのか。もしくは、ここは全く相関関係がないと考えたらいいのか。これだけでは一概に言えないことはわかっていますが、どのように考えているのか、教えていただきたいと思います。

もう1点、改善の方策の中で、先ほどもタブレット端末の話が出ておりました。何年か前に反転授業が話題になって、学力向上に力を貸してくれるという意味合いだったと思います。それを効果的に使えるのがタブレット端末だと受け取っていましたが、現在、反転授業に関する考え方や流れについて、どのように教育委員会では考えているのでしょうか。前向きなのか、後ろ向きなのか、様子見なのか教えていただければと思います。

高橋 課長

はじめに、授業中の私語が少なく落ち着いていることと学力の相関関係につきましては、11ページのグラフで、小学校が50%、中学校が90%を超えている実態ですけれど、私どもが年に何回も学校教育指導訪問で授業を見せていただいたり、各種相談等を見ても、小学校の50%というのは、非常に厳し目の見方であると捉えております。市内小中学校においては、少なくとも通常の授業においては、子どもたちは望ましい学習雰囲気の中で教師の質問に答えたり、場面においては、友達と交流したり、全体の学びに移ったりということで、かつて学級崩壊と言われているような状況はいずれの学校でも見られません。こちらの設問自体があくまでも、学校の主観的な捉えになりまして、①学習規律では、中学校も令和元年に大きく落ち込んでおりますけれど、こちら主観的な判断が作用したものと捉えております。ただ、ご指摘のとおり、子どもたちが静かに聞いていることと、理解していることについては別になりますので、いずれにしても、平均正答率などに目がいきますけれど、最終的には1人1人の子どもが理解できるように、学校は授業改善に努めているところでございます。

2つ目のご質問のタブレット端末の活用につきましては、今、各学校で様々な教育活動を通して、タブレット端末を使い始めており、教職員や子どもたちも慣れている段階でございます。反転授業も含めて、今度、どのような授業のあり方が効果的なのか、全国の様々な事例を集めて、市内の子どもたちのためによりよいタブレット端末の使い方について啓発していきたいと考えてございます。

田中 委員
柳川 委員

ありがとうございます。

質問ではなくて意見です。例えば、タブレット端末を買って与えて、自学自習の機会を多くすると、小中学生に必ず当てはまるか別として、成績の二極化が進みます。よくやる子はやるし、やらない子はやらない。そこは注意が必要だと思います。

池原教育長

他になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

日程第4、報告第44号、とかちプラザ運営審議会委員の委嘱についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

井上 部長

報告第44号、とかちプラザ運営審議会委員の委嘱についてご説明いたします。議案書21ページでございます。本案は、とかちプラザ条例の規定に基づき、市長の附属機関として設置しております、とかちプラザ運営審議会委員の任期が満了となりましたことから、同条例第4条第3項の規定により、天内道子氏外19名を新たに委嘱したことを報告するものでございます。委員20名は学識経験者から選出しており、うち2名は一般公募により選出しております。委員構成は、新任7名、再任13名、委員の任期につきましては、令和3年11月1日から令和5年10月31日までの2年間であります。報告は以上です。

池原教育長
各 委員
池原教育長

これから質疑に入ります。

ありません。

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

日程第5、その他に入ります。

その他(1)今後の事業予定についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

服部 室長

学校教育部の今後の事業予定についてご報告いたします。議案書25ページであります。まず、企画総務課からは、市内小中学校の2学期の終業式が12月24日金曜日に、南商業高等学校では12月16日木曜日に行われます。次に学校教育指導課からは、12月3日、稲田小学校において、公開研究会がオンラインで行われます。学校教育部からは以上です。

藤原 課長

続きまして、生涯学習部に関する主な事業予定についてご報告いたします。生涯学習文化課では、議案書26ページ、12月11日のティータイムコンサートのほか、帯広市民大学講座4講座をご覧の日程で予定しております。次に図書館では、12月4日に、令和3年度市民文芸賞表彰式を開催するほか、各種行事をご覧の日程で予定しております。次に27ページ、児童会館では、12月4日及び5日に帯広児童劇団のミュージカル「トランク2021」の公演のほか各種行事をご覧のとおり開催いたします。次に29ページ、百年記念館では、12月18日の博物館講座のほか、各種講座をご覧の日程で開催します。最後に動物園では、12月4日より冬期開園がスタートするほか、期間中の土日祝日には動物園職員が撮影した写真展を開催いたします。生涯学習部からは以上です。

池原教育長
藤澤 委員

これから質疑に入ります。

ワンコインでティータイムコンサートに気軽に足を運んでと記載

がありますが、先にチケットを購入しなくても、当日入場できるのでしょうか。

藤原 課長
藤澤 委員
佐々木委員

当日お越しいただき、お楽しみいただけます。

ありがとうございます。

おびひろ動物園の写真展について、動物園の職員の方が撮影した写真を展示して、さらに来園者によるお気に入り写真の投票を行うとありますが、オンラインで行う予定はありますか。なぜ、気になるかという、おびひろ動物園のツイッターアカウントに職員の方がいつも動物の写真を上げていて、リツイート数を見ても、ものすごい人気で全国の方々から愛されているアカウントだと思います。帯広に足を運べない方が多いと思いますし、今までツイッターで見ている方も、写真展という形で改めて見たいという方も結構いらっしゃると思います。さらに写真の人気投票をすると喜んで投票する方もいると思ったので、予定があるのかどうかお聞きします。

柚原 園長

ツイッターをお褒めいただきありがとうございます。今のところ、オンライン開催は想定しておりません。入園していただいた方に投票していただく形になっております。ちょっと違うのは、高校生が撮った写真も併せて展示しようと思っておりますが、今後、検討させていただきたいと思います。

佐々木委員
池原教育長

ありがとうございます。

他になれば、質疑を終結し、本件を終了します。

その他（２）寄附受納についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

服部 室長

学校教育部の寄附についてご報告いたします。議案書 31 ページをご覧ください。企画総務課担当分として、柏小学校の教育環境の充実を図るため、帯広市立柏小学校創立百周年記念事業協賛会様より、フォールディングテーブル等の物品をご寄附いただいております。次に学校地域連携課担当分として、地域ぐるみで子どもを応援する活動の推進のため、市外在住の方 593 名より 737 万 6 千円をご寄附いただいております。次に 32 ページ、学校教育課担当分として、学校教育の振興のための奨学事業や教育の研究に役立てるため、市外在住の方 270 名より 352 万 2 千円をご寄附いただいております。次に 33 ページ、学校給食センター担当分として、地場産農産物の活用による学校給食の充実のため、伊藤農場様より、ニンジン 300 kg をご寄附いただいております。なお、ご寄附いただいた現金は、子ども学校応援地域基金外 1 基金に積み立てるものです。学校教育部からは以上です。

藤原 課長

続きまして、生涯学習部に関する寄附についてご報告いたします。議案書 34 ページ、生涯学習文化課では、風土に根ざした文化の振興のためとして、市外在住の方 87 名より 99 万 9 千円をご寄附いただ

いております。次に図書館では、図書資料充実のためとして、市内在住及び市外在住の方 142 名より 235 万 6 千円をご寄附いただいております。次に 35 ページ、動物園では、動物展示施設等の整備及び動物の購入のためとして、市外在住の方 212 名より、614 万 7,313 円をご寄附いただいております。最後に 36 ページ、スポーツ課では、スポーツ振興のためとして、市外在住の方 76 名より 150 万 9 千円をご寄附いただいております。なお、ご寄附いただいた現金は、ふるさと文化基金外 3 基金に積み立てるものです。以上です。

池原教育長
各 委 員
池原教育長

これから質疑に入ります。

ありません。

別になければ、質疑を終結し、本件を終結します。

各委員から他にご意見、ご質問等があれば、お受けいたします。

各 委 員
池原教育長
山下 室長

ありません。

事務局から、その他説明事項はありますか。

それでは、前回 11 月 9 日の教育委員会会議におきまして、藤澤委員から点検評価の成果指標の質問のうち、留保していた 2 点についてお答えしたいと思います。1 点目、個別施策 1－3、情報教育の推進の成果指標であります「授業でコンピュータなどの ICT を活用したいと思う子どもの割合」の基準値が小学校で 87.4%、中学校で 73.8%、13.4 ポイントの開きの理由についてご質問がございました。こちらの成果指標ですけれども、全国学力・学習状況調査の児童生徒の質問紙で集計しているものです。全国平均におきましても、小学校 86.5%、中学校 78.3%と中学校が低い傾向がございました。また、児童生徒の質問紙では ICT に係わる質問は他にもございまして、「小学校では小学 5 年生まで、中学校では中学 1, 2 年生の時に受けた授業で、コンピュータなどの ICT をどの程度活用しましたか」という質問がございまして、帯広市の集計では、小学校 31.4%、中学校 20.5%と、同じく中学校が低い傾向が見られております。この全国学力・学習状況調査の結果について、国立教育政策研究所で報告書をまとめたものがございまして、こちらの記載に「授業でこういったコンピュータなどの ICT を使用頻度が高いほど、もっと活用したい、興味・関心が高くなる傾向が見られる」と分析がされております。そのため、帯広市においても、小学校の方が関心が高く、実際に活用した数値が高いと出ておりますので、同様の傾向が見られて、中学校の方が低い傾向が出たものと考えております。なお、この成果指標については、「授業でコンピュータなどの ICT をどの程度活用をしましたか」という質問は、令和元年度に初めて出た質問になります。当時、ICT 整備の国の考え方が 3 クラスに 1 クラス分の端末整備を徐々に拡大していくという前提で、地方財政措置がなされていったものですが、その後、GIGA スクール

構想の1人1台端末を令和5年度までに整備する方針が打ち出された流れもございました。さらには新型コロナウイルス感染症の影響により、早期にオンライン授業等の体制を整えていく必要性から、令和2年度の補正予算により、1人1台端末を一気に整備した経過がございます。こうして短期間でICTに係わります教育環境が変わったことから、令和3年度の学校質問紙では、「学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」といった質問に変わってございます。こうした経過を踏まえ、「授業でコンピュータなどのICT機器を活用したいと思いますか」という成果指標については、既に1人1台端末が整備された状況においては、若干なじまないと考えますので、今後、成果指標の見直しについても検討してまいりたいと考えてございます。

次に2点目、個別施策2-8、健やかな体の育成の成果指標の「朝食を毎日食べている子どもの割合」で、小学校91%と基準値の94%を下回った理由についてお答えいたします。令和2年度の小学校の数値は基準値より3ポイント少ない状況になっておりますが、過去5年間では数値が低い年で92%、高い年で95.7%、例年数値が増減しております。参考までに、令和3年度の結果は、小学校92.1%、中学校92.9%となっており、小学校1.1ポイント増加、逆に中学校は1.1ポイント減少、小中学校ともに基準値を下回った結果でございます。影響として考えられるのは、例年、全国学力・学習状況調査は4月に行われますが、令和2年度は一斉休校の影響があり、夏休み以降の実施となっております。実施時期の違いが数値に影響していることも考えられますが、一方、中学校は基準値93%に対し、令和2年度は94%と増加しており、いろいろな角度で検証してみましたが、因果関係をはっきりさせることが難しく、明確な理由を導き出すことができなかったものでございます。以上です。

藤澤 委員
池原教育長
各 委員
池原教育長

ありがとうございます。

ただ今の件について、何かございますか。

ありません。

他になければ、ここで会議の進め方についてお諮りいたします。

日程第6の案件については、帯広市教育委員会会議規則第16条第1項第3号により、非公開にしたいと存じます。

これにご異議ありませんか。

各 委員
池原教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのとおりに取り扱いたします。

これより、会議を非公開といたします。

日程第6、議案第36号、令和3年度帯広市一般会計補正予算（第13号）中教育委員会関係分について及び議案第37号から議案第39号までの公の施設の指定管理者の指定についてを一括して議題とい

たします。

直ちに説明を求めます。

井上 部長

はじめに議案第 37 号から議案第 39 号、公の施設の指定管理者の指定について一括してご説明いたします。議案書 13 ページから 17 ページでございます。これらにつきましては、いずれも地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 29 条の規定に基づきまして、議会の議決を経るべき案件について教育委員会の意見を述べようとするものであります。公の施設の指定管理者につきましては、令和 4 年 4 月 1 日からの新たな指定管理者を募集するため、本年 9 月 24 日から 11 月 8 日まで申請受付を行ったところでございます。その後、指定管理者選定委員会を開催し、申請者からの聞き取り、書類審査等を経て指定管理者の候補者を選定したものでございます。各施設の指定管理者につきましては一括してご説明させていただきます。まず、13 ページ、帯広市民文化ホール、15 ページ、帯広の森陸上競技場外 11 施設、17 ページ、帯広の森平和球場ほか 5 施設については、いずれも帯広市南町南 7 線 56 番地 7、一般財団法人帯広市文化スポーツ振興財団を令和 4 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日までの 5 年間指定しようとするものであります。なお、候補者選定の結果につきましては、11 月 17 日に帯広市のホームページにて公表したところであります。今後、当議案につきましては、12 月議会において審議される予定となっております。説明は以上です。

広瀬 部長

議案第 36 号、令和 3 年度帯広市一般会計補正予算（第 13 号）中教育委員会関係分のうち、学校教育部に係わる部分についてご説明いたします。議案書 1 ページでございます。本案は地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 29 条の規定に基づき、議会の議決を経るべき事件の議案について、教育委員会の意見を述べようとするものでございます。それでは、4 ページをご覧ください。教育費に係わる 12 月補正予算額は、中段左側の第 50 款、教育費、補正額の欄にありますとおり、6,955 万 3 千円であり、補正後の予算額は 69 億 5,514 万 3 千円となるものでございます。補正予算の詳細につきましては、7 ページ以降の事業別内訳書にてご説明いたします。まず、10 ページ、教育委員会事務局費につきましては、保護者等の経済的負担を軽減するため、感染症の影響による修学旅行の延期等に伴う取消料等を支援するものであります。体育系大会派遣支援事業費外 2 件につきましては、各種全国大会等の出場条件として、大会主催者側から PCR 検査の受検を要請される際の必要経費を補助するものでございます。なお、夏の大会で受検された費用についても補助対象とするところでございます。また、この中には生涯学習部のものも一部含まれております。学校保健特別対策事業費につきましては、1 校当たりの補助上限額が引き上げられた国の補助事業を活用

し、学校における感染症対策等の経費を増額するものです。続きまして、11 ページ、寄附金に関して一覧表にてご説明いたします。寄附金とその利子について、寄附者のご意向に沿いまして、教育振興基金に 230 万円を、こども学校応援地域基金に 637 万 6 千円を、それぞれ積み立てるものであります。学校教育部からの説明は以上です。

井上 部長

続きまして、生涯学習部の補正予算についてご説明いたします。議案書 7 ページ及び 8 ページでございます。まず、おびひろ動物園の管理業務委託及び百年記念館、図書館、児童会館の清掃・警備業務委託に係わる債務負担行為につきましましては、令和 3 年度末で契約期間が終了いたしますことから、一覧表のとおり、令和 3 年度から令和 8 年度まで、それぞれ債務負担限度額を設定しようとするものでございます。次に議案書 9 ページ、先ほどご説明いたしました公の施設管理の指定管理者の指定に係わる債務負担行為につきまして、一覧表のとおり、それぞれ債務負担限度額を設定するものでございます。続きまして、10 ページ、地方創生臨時交付金を活用した新型コロナウイルス感染症対策関連分でございます。指定管理者への支援に関しましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和 3 年 4 月から 9 月までの利用料金収入が減少した、とかちプラザ、市民文化ホール、帯広の森運動施設、よつ葉アリーナ十勝について、公の施設の安定的かつ継続的な運営を図るため、それぞれの指定管理者を支援するものであります。続きまして 11 ページ、寄附金につきまして一覧表にてご説明いたします。寄附金とその利息について寄附者のご意向に沿いまして、ふるさと文化基金に 89 万 7 千円、図書館図書整備基金に 96 万 7 千円、おびひろ動物園ゆめ基金に 194 万円、スポーツ振興基金に 87 万 4 千円をそれぞれ積み立てるものであります。また、図書資料等の整備のため、図書資料等整備費 30 万円を計上しております。生涯学習部からは以上です。

池原教育長
各 委 員
池原教育長

これから質疑に入ります。

ありません。

別になければ、質疑を終結します。

お諮りいたします。

議案第 36 号、令和 3 年度帯広市一般会計補正予算（第 13 号）中教育委員会関係分について外 3 件は、原案のとおり了承することにご異議ありませんか。

異議なし。

ご異議なしと認め、議案第 36 号外 3 件は了承されました。

以上で本日の日程はすべて終わりました。

これをもちまして、令和 3 年第 19 回帯広市教育委員会会議を閉会いたします。

各 委 員
池原教育長